

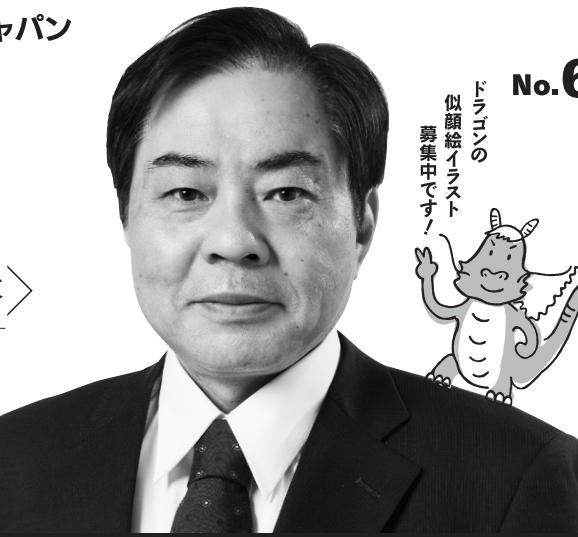
# あらき ニュース

Ryusho Araki News

2018  
<冬春>  
号

緑の党  
グリーンズジャパン

発行: 福岡市議会議員 荒木龍昇  
〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7  
TEL.092-862-8980/FAX.092-862-8985  
メール f-lapas@hf.rim.or.jp



[p2]12月議会の主な議案／[p3]一般質問(「アラート訓練・地下鉄陥没事故」)／[p4]議会改革調査特別委員会ほか

12月1日、福岡市は政令市で初めて「Jアラート」の訓練を行いました。地下鉄・JR・西鉄で数分間電車を停止させる訓練のほか、天神中央公園や舞鶴小学校で避難行動訓練がありましたが、私は12月議会の一般質問で、これが本当に必要な訓練だったのかと問い合わせました。

(詳しくは3ページをご覧ください)

アジアのゲートウェイとして…  
**大切なのは、お互いの歴史に対する理解を深め、友好関係を守ること**

危機管理とは、起こった事態に対応するだけでなく、危機的な事態が生じることを事前に防ぐこと、平和的に解決することにあります。Jアラート訓練は市民に北朝鮮国民への敵愾心のみならず、韓国国民や在留外国人に対する憎悪や、偏見による犯罪行為(ヘイトクライム)を醸成することに繋がる恐れがあります。

また、高島市長は局長クラスを釜山に派遣し、「少女像」問題の懸念を伝えるという報道がありましたが、これまで築いて

きた友好関係を壊してしまうのではと危惧します。「少女像」の背景にある韓国国民の思いは、「日本政府は歴史を正しく伝えようとしていない」ということです。近隣国の国民との友好親善を図ることが重要であり、お互いの歴史、文化を理解し、尊重し、信頼関係を築いていくこそが、本来の危機管理です。

福岡市はアジアのゲートウェイとして、東アジアの平和を築いていくための施策こそが必要です。

市政懇談会を各校区で開催しています。

【市政懇談会の予定】  
①日時: 2月1日(木) 19時～  
場所: 田隈公民館  
②日時: 2月3日(土) 15時～  
場所: 飯倉中央公民館  
※その次は、2月・3月議会が終了後、4月から再開します。



皆さんのお困りごとやご相談、ご要望など、なんでも承りますので、お気軽にご参加ください。

Jアラート訓練は、本当に必要だったか？

皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2017年の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。視察調査の報告もすべて掲載しています。

あらき事務所

092-862-8980



あらき 龍昇  
公式ウェブサイト  
<http://www.araki-jp.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —

# 森あや子 ニュース

Ayako Mori News

発行: 福岡市議会議員 森あや子

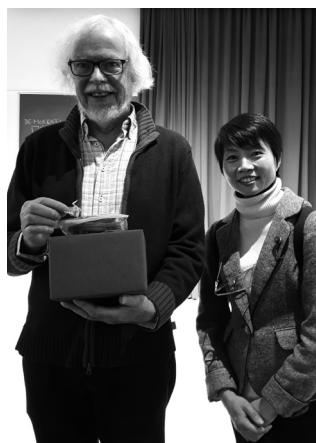
〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階

TEL.092-662-5077 / FAX.092-662-5097

<http://ayako966.blog.fc2.com/>

2018  
冬春  
号

[p2] 12月議会の主な議案 / [p3] 一般質問(ニアラート訓練・地下鉄陥没事故) / [p4] 議会改革調査特別委員会ほか



## 「幸福度世界一」デンマーク視察

### ・幸福度世界一をつくる民主主義

11月にデンマークを訪問し、保育・教育・福祉・歴史や文化の視察を通じて国民性と民主主義について学んできました。

デンマークでは幼少からの社会参加や教育プログラムが真の民主主義をつくり出しています。男女平等参画も当たり前で、主権在民の国です。社会を良くすることは政治抜きではできず「民主主義は民が行う政治」であることを実感しました。個人の自立、他者との共生と創造力を育てる理念が、普段の暮らしの中にしっかりと根付いています。

### ・待機児童ゼロ、大学院まで教育費は無料 ～人が育ち、国が育つ～

子どもは保育所や幼稚園には必ず入れます。義務教育はもちろん、大学や大学院までも教育費は無料です。未来を担う大切な子どもたちの教育は、経済的理由で学ぶ機会や意欲を失わないよう国民全員で支える仕組みです。

また、授業についても、教師が教えるだけのスタンスではなく、物事についてどう考えるかを出し合い、一人ひとりの考えを聞き認め合うような授業です。そんな経験を繰り返しながら、自然に人権意識も育っていきます。ハンディがあっても自分らしく生きられる社会です。



### ・貧困率上位の日本 その現状

日本は、世界の中で相対的貧困率は常に上位となっています。議員歳費は世界一高く、教育費の公費負担は低い日本。少子高齢社会、人口減少(=労働人口減少)、非正規・派遣の雇用増、経済格差、教育格差、子どもの貧困、自殺者年間約3万人…。福岡市の奨学援助を受けている子どもたちは4人に1人です。

経済格差、教育格差を生み出しているのは、本人の努力の問題ではなく「政治の失敗」です。政治を通して格差をなくしていくことが、持続可能な社会をつくります。デンマークで学んだことを議会活動に活かしていきます！

## 生活って政治！

「暮らしのための議会」を実現するため、皆さんのご意見や思いを聞かせてください。

事務所

092-662-5077



森あや子 公式ブログ  
<http://ayako966.blog.fc2.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —

## 12月議会 主な議案への賛否と主張

一反対した10議案より以下抜粋—  
【40議案中(決算除く)、30議案に賛成】

### ✓「議員の期末手当、増やす必要なし」 一般会計補正予算（議案220号） [賛否] 反対▶[結果] 可決

「議員報酬は削減すべき」という考え方のもと、予算案の一部「議会費」に、支給月数0.05ヶ月増(国に準じ)が含まれることに反対しました。(※1 議員年金について)

### ✓「市職員の扶養手当、減額や廃止に反対」

市職員の給与の改定に関する条例改正（議案233号・237号・238号） [賛否] 反対▶[結果] 可決

国に準じて市職員の扶養手当の額の改定(減額や廃止)などを行うという内容が含まれていました。公務員／民間企業に関係なく、保育、介護などの受け入れ態勢が不十分な現状において、減額や廃止は厳しいと考え反対しました。

### ✓「景観、耐震性他、問題あり！」 建築物の制限に関する条例改正（議案236号） [賛否] 反対▶[結果] 可決

旧大名小学校跡地の容積率を450%から800%にすることは、景観や耐震性(※2)、道路や下水道などの公共施設の負荷など、健全な都市環境という観点から問題があると考え、反対しました。

### ✓「地場企業の育成などの点で懸念あり」

市営住宅・教育的施設の指定管理者の指定（議案245号～248号） [賛否] 反対▶[結果] 可決

指定管理者制度(※3)すべてに反対ではありませんが、中央区内と南区内の市営住宅に関する議案については、地場企業を育成する観点から評価のあり方などに懸念があり反対、背振少年自然の家と海の中道青少年の家の議案については、教育的観点から指定管理者制度になじまないと考え反対しました。

※1 「議員年金」が廃止され、いま議員は「国民年金」に加入していますが、「議員も『厚生年金』へ加入できるようにすべき」という意見書を出す動きが全国的に広がっています。まだ福岡市議会ではそのような意見書は採択されていませんが、「意見書を出すべき」という動きがあり、要注意です。国民年金と厚生年金の格差は全国的に見直すべきであり、議員だけを優遇すべきではありません。

※2 熊本地震の検証から超高層ビルの新たな問題として、長周期パルスの問題が指摘されています。震度7が想定されている警固断層に近い旧大名小学校跡地の超高層ビルは危険性が高いと考えます。

※3 指定管理者制度とは、公の施設の管理・運営を、営利企業・財団法人・NPO法人などに包括的に代行させることができる制度のこと。2003年から制度化され、経費の節減や住民サービスの向上などを目的に、徐々にその対象が広がっています。

ご存じですか

## 「請願」制度 ~「あなたの声」を議会に届けませんか。いつでもご相談ください~

市民の声を議会でしっかりと受け止め、議論の機会をつくるため、私たちはできる限り紹介議員となり、皆さんの政治参画を応援しています。(紹介議員がない場合は「陳情」扱いとなり、福岡市議会では議論が一切行われません。)

### 2017年も、以下の請願の紹介議員になりました。

- 医療的ケア児の保育園入園に関する請願
- 公立夜間中学校の設立を求める請願
- 議会基本条例の制定を求める請願
- 和白干潟のラムサール条約登録を求める請願
- 玄海原発の再稼働の安全性に関する説明会開催を求める請願 ほか

請願の審査結果  
(平成26年～平成29年)



### 議論乏しい、福岡市議会の現状

請願の多くは「継続審査」となり、実質棚ざらしで、十分な議論が行われていないのが福岡市議会の現状です。出された請願は常任委員会などで審査し、本会議で採択・不採択を決定しますが、平成26年～29年の4年間で出された92件の請願のうち、採択は10件、不採択は13件、残りの約75%＝69件は「継続審査」となっています。しっかり議論が行われる議会に変えていきます！

日常のお困りごと、相談ごとはありませんか？市政や議会への提案や要望も承ります。請願の紹介議員をお探しの方もご連絡ください。「緑と市民ネットワークの会」は市民の皆さんのが声を市政に反映させていきます。

# 市民目線で市政をチェック!!



一般質問 あらき龍昇 議員

一般質問で追及しました

「Jアラート訓練」では、市内全域の携帯電話に緊急速報メールを配信するなどの「情報伝達訓練」や、天神中央公園と舞鶴小学校で行われた「避難行動訓練」、交通局は地下鉄を駅に停車させる訓練、消防局は局内の連絡体制の確認訓練を行いました。



### ◆本当に攻撃を受ければ、こんな訓練は意味がない

「敵愾心と不安をあおるだけ」といった声が市民からもあがりました。

今回の訓練は、安倍政権に「忖度」した、大変問題のある訓練だったと考えます。

### ◆内容の協議なし、結果集約もなし

非常に大規模な訓練であったにもかかわらず、答弁では、市の最高意思決定機関である市政運営会議で協議されていなかったということが明らかとなりました。

危機管理を所管する市民局は、「情報伝達や初動対応の訓練ができた」、「個人で身を守る訓練ができた」と答弁する一方、訓練全体の結果を集約していません。

### ◆子どもに与える不安への考え方

教育委員会は市民局の協力依頼で各市立学校に案内し、校長の判断で訓練を実施したと言っていますが、舞鶴小学校以外にも訓練が行われた小学校があつ

たにもかかわらず、その把握をしていません。  
子どもたちのPTSDが危惧されますが、そういった心理的なケアもまったく考えられていませんでした。

昨年3月に提出された、第三者による事故検討委員会の報告を受け、福岡市は工事再開を検討。事故区域の地層を人工岩盤で強化しナトム工法で再開するという結論を出しました。

### ◆低コストのナトム工法に執着、あげく147億円増

「事故原因である可能性が高い事項」として、事故検討委員会から指摘された“複雑な地層に対する対策”についての問題は、事故前から市の技術専門委員会でも繰り返し指摘されていました。市はそれを受け止めないまま工事を進め、事故を起こしたのです。

過去の議事録から、ナトム工法を選択した市の設計ミスと考えられます。経費を安くするためにナトム工法に執着した結果、113億円の予定が、260億円の工事になってしまいました(事故区域分)。

事故検討委員会の報告に対し、交通局は「法的過失について記載されていないので、法的責任はない」とし、誰も責任を取っていません。

私たちは、技術的にも、また仮復旧の際の埋没物の問題を考えても、ナトム工法ではなく、開削工法に変更すべきだと提案しています。

### ◆問われる公共工事のあり方

そもそもこの延伸工事は、七隈線をはじめから天神駅に接続させておけば必要がありませんでした。わずか1.4kmの距離に450億円(当初予算)もかけて延伸する必然性があったのか？いま、公共工事のあり方が問われています。



地下鉄陥没事故の真相

博多駅前

反省ないまま、工事再開

# 緑と市民ネットワークの会



## 議会報告ニュース

[第11号]

冬 / 春 2018  
号

公式サイト <http://midoritonet.info>

発行:緑と市民ネットワークの会/〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟13階/TEL.092-711-4875/FAX.092-733-5881

# 見える、声がきちんと届く、 市民の暮らしのための議会に！

## 議会改革ってどうして必要な?

税金の使い道を決めている市議会は、市民の暮らしのことを決めます。市民にとって「見えやすく」、暮らしの「困った声が届く」議会でなければいけません。暮らしの中から、足りない制度や仕組みが見えてきます。社会の変化に伴い、常に制度や仕組みは見直しが必要です。市政運営をチェックする機関として、議会がその役割を十分に發揮できるようにならなければなりません。そのためにも議会改革が必要です。



レポート 森あや子 議員

## そもそも誰のための議会？

血税の使い道、制度や仕組みを決めるのが議会。税の再分配がきちんと行われているのか、格差を生み出しているのか、市民の暮らしに寄り添ったものになっているのかの視点が大事です。議員のための議会ではありません。市民のための議会です。

少子高齢化はどんどん進み、暮らし辛さは増してきます。たとえ政治に関心がない市民であっても、政治に無関係では暮らせません。議会の内外から変えていく必要があります。

最低の評価

福岡市議会

# 改革に向けて前進中！

## ◆「参考人招致」を実施！議会改革調査特別委員会

福岡市は、まだ議会基本条例を策定していません。20政令市の中で、市民に開かれた議会かどうかの評価は最低です。

そのような中、福岡市議会でも2年前から議会改革調査特別委員会が設置され、先日は有識者である金井利之東京大学教授(12/1)と廣瀬克哉法政大学教授(1/15)を参考人としてお招きし、「議会基本条例」についてお話をいただきました。委員以外の議員

や市民の皆さんもいつもより多くの傍聴がありました。「参考人招致」は福岡市議会では異例で、これは改革に向けてかなりの前進です。

私たちは、市民に見える議会、情報公開と市民参加が保障される議会であるためには、理念や基本的事項をしっかりと定めた基本条例が必要だと考えています。(しかし、まだ「基本条例は必要ない」という会派もあり、温度差があります。)

## ◆子どもにも身近な議会に！社会科特別授業実行委員会が発足

議会改革の一環で、子どもたちにも議会に関心を持つてもらうために、平成30年度から「今日は、福岡市議会で社会科の特別授業を受けてきます！」と題し

て議場で特別授業を行います。議員発の実行委員会を発足し、目下検討中です。詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。